

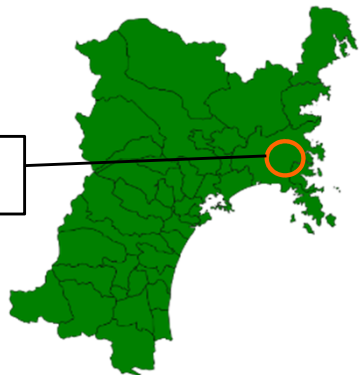
地区の概要

- 事業名: 農業競争力強化農地整備事業
- 地区名: 大森地区
- 受益面積: A=178.5ha
- 総事業費: 3,745百万円
- 工期: R3~R11
- 農家戸数: 136戸
- 関係市町村: 石巻市
- 土地改良区: 石巻市北方土地改良区
- 導入作物予定: 水稲、大豆、大麦、じゃがいも等
- 地区の特徴・PRポイント

事業を機に、大型機械の導入を検討している担い手農家も増えており、今後は自動操舵の積極的な導入も期待される。事業で整備される自動給水栓も活用しながらスマート農業の先進地となることが見込まれる。

県内位置図

- 位置 みやぎけんいしのまきし 宮城県石巻市 (過疎)



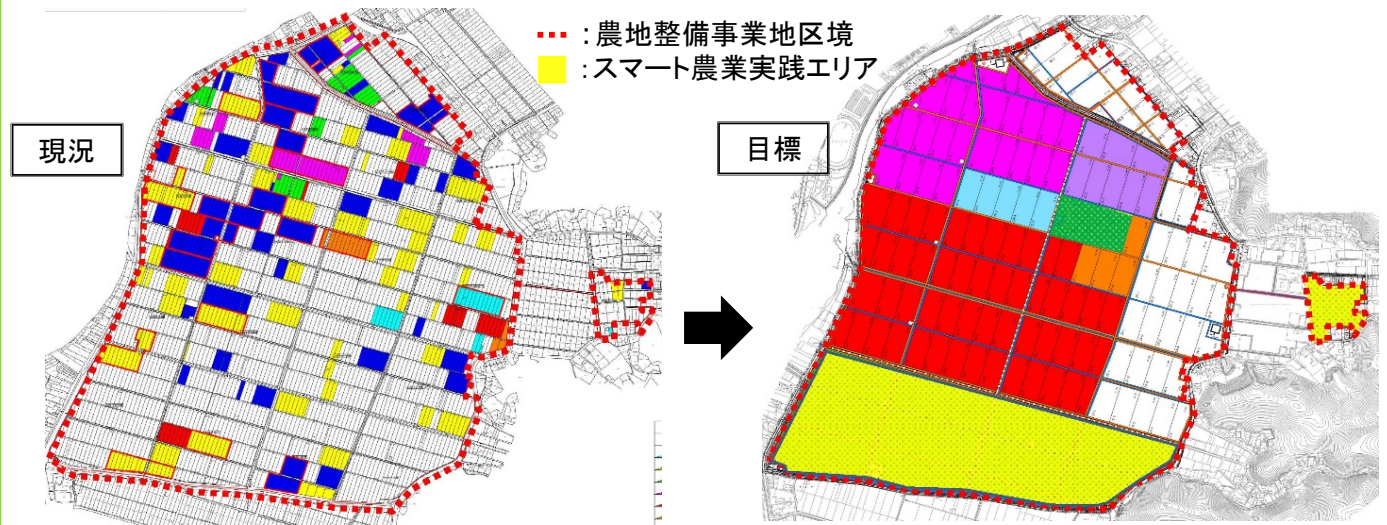
実践担い手の概要

- 氏名 個別農業者
- 構成員 常時雇用(パート従業員) 2名 臨時雇用 6名 全体8名
- 経営面積(R5予定) 地区内 A=43.9ha 地区外 A=30.9ha 全体 A=74.8ha
- (作物別) 水稲 A=62.4ha その他(水稲ホールクropp) A=12.4ha

取り組み内容

- 【スマート農業の取組内容】
- 導入機械
 - ・無人航空機(ドローン) 1台
- 作業内容
 - ・農薬散布・追肥
- 【実践者の声】(代表取締役)
 - ・今後の展開方向
 - ドローン台数の増。トラクタへの自動操舵導入。ほ場整備事業による自動給水栓の活用。
 - ・期待するもの
 - 人件費及び労働時間の削減
 - ・意気込み
 - スマート農業を拡大し、誰でも営農ができるようにしたい。

地区位置図・実践エリア



●現況では、農地が分散しており、離れた農地で作業する度にドローンの設定が必要となり、作業効率に支障を来している。

●農地整備事業を機に農地が集約され、ドローンの設定頻度が大幅に減り、作業の効率化が期待される。

